

開催月日 : 2019年 8月 26日

2019年度第1回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

施設長	ホーム次長兼センター長	支援センター長	ホーム係長	通所係長	記録

時間	am / pm 10:00	am / pm 11:00	場所	かんだ連雀 地下会議室
議長	尾崎 正紀		書記	福本 美希
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係: ●●●●様、●●●●様			
	○千代田区社会福祉協議会: ●●●●様			
	○千代田区高齢者あんしんセンター: 川島典子(神田地区)			
	○千代田区かがやきプラザ: 常川知美			
	○医療機関: ●●●●様(三楽病院) ●●●●様(杏雲堂病院)			
	●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携)			
	○知見を有する物: ●●●●●様、●●●●●様、川上明美、上宇都紗香			
	○地域住民の代表者: ●●●●●様、●●●●●様			
○指定事業者 かんだ連雀いつでもサポートサービス: 峯俊美、尾崎正紀、福本美希				
議題				
確認事項	議長			
	出席者			
会議内容	①開会の挨拶 かんだ連雀: 峯俊美			
	②取り組み事例発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス: 福本美希			
	③ご出席者皆様よりご意見・講評			
	④閉会の挨拶 かんだ連雀: 峯俊美			
保留事項				

詳 細
①開会の挨拶
かんだ連雀:峯俊美
○令和になりまして初めてのサービス連携推進会議の開催となります。現在の介護保険で在宅の支援が求められることが増えてきた中で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスも更に求められることとなると思います。今回もどうぞ宜しくお願い致します。
②取り組み事例発表
かんだ連雀いつでもサポートサービス:福本美希
○過去2年分の利用者データをもとに、かんだ連雀いつでもサポートサービスを利用される方の傾向、特徴を発表する。その中で7月に援助が始まったばかりの方のジェノグラムを元にどのようなサービスが必要か、今後どのような課題が出てくるかをグループワーク形式でワークシートに記入して頂いた。看護や地域目線で見える課題を今後の支援の参考とするためグループワーク形式とした意図を伝える。
●川上明美:知見を有する者
○Aさん、Bさんの介護度、ADLについて教えていただけますか。
(→かんだ連雀:福本)Aさんは要介護3、Bさんは要介護1です。ADLについて、Aさんは杖歩行ですが見守り、一部介助が必要な状態です。ご自宅の2階にお住まいですが、階段昇降は介助があっても難しい状態です。食事はゆっくりですが自力摂取が可能、トイレはヘルパー介助が必要です。
BさんはADLは概ね自立で、階段昇降は見守りのもと、ゆっくりであれば可能です。食事の配膳や片づけはできますが、認知症状から朝食を食べたことを忘れて何度も配膳したり、食べるの忘れて食材を電子レンジに入れたままにされることもあります。
●常川知美:千代田区かがやきプラザ
○Bさんの認知症、軽度ですか？朝食を何度も出すようでは重度のような気もしますが。
(→かんだ連雀:福本)短期記憶にムラがあり、食事の支度に関しては忘れて何度も用意をされることがありますが、ご主人であるAさんに食事を出さなきゃという意識から何度も用意してしまうようです。Aさんのお世話を献身的にされており、Aさんに関する促しは覚えていらっしゃることも多いです。
水分の促しをヘルパーが依頼するとそれは覚えていることもありました。
○そうですか、ありがとうございます。
● ●●●●様:医療
○Aさんの癌は痛みなどの自覚症状は出ていますか？医療との連携はどのようになっていますか？
(→かんだ連雀:福本)痛みの訴えは聞かれていませんが、もし痛みが出たら緩和病棟へ入院できるよう予約はできています。毎週の往診もあり、ご自宅で過ごされている状況です。
(かんだ連雀:尾崎)皆様ありがとうございます。では現在の対応についてお配りします。あくまで現在の対応であり、正解ではありません。本来なら新規が入るたびに皆さんからのご意見を頂戴したいのですが、なかなか機会がないので、今回の皆様からのご意見を今後、支援を考えていく際の引き出しとなるよう参考にさせて頂きたいと思います。

詳 細

④閉会の挨拶

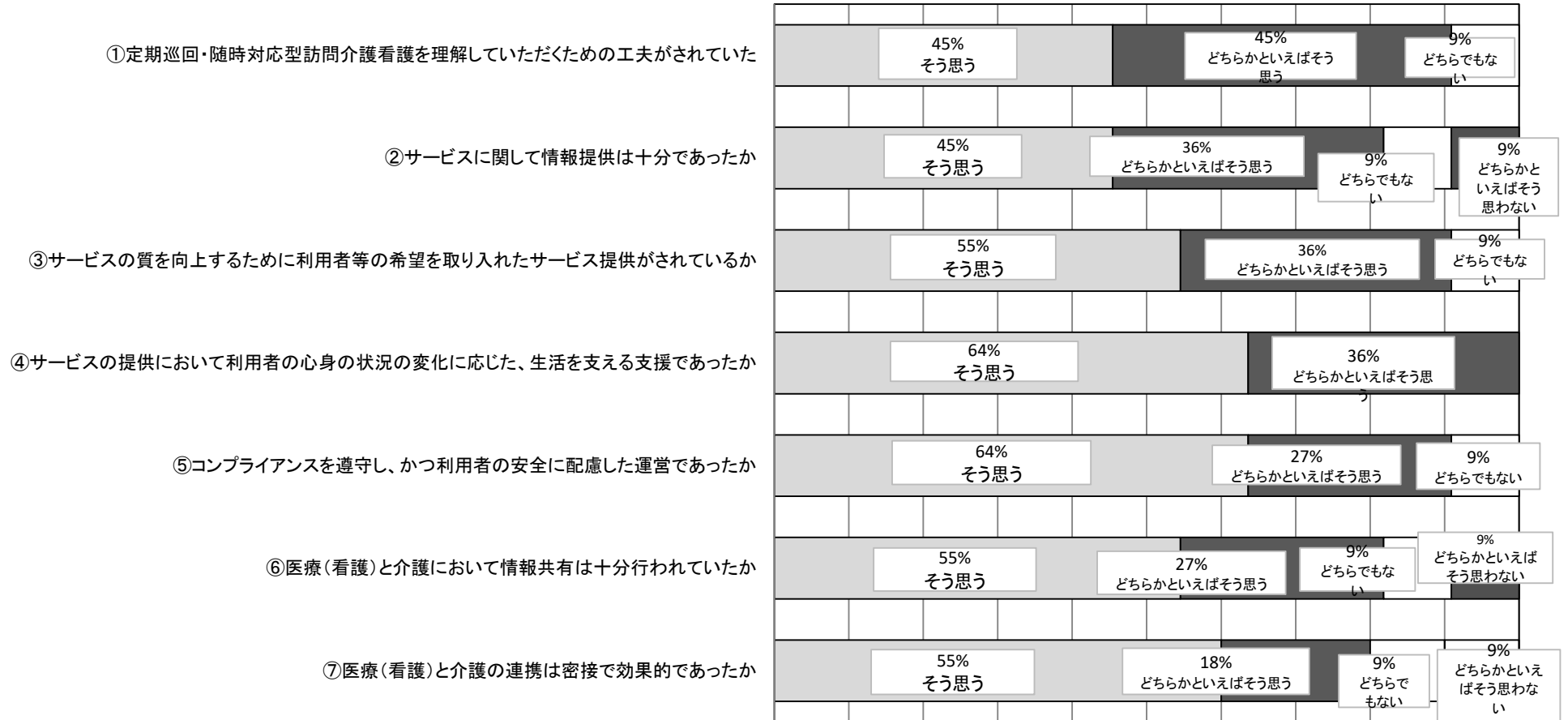
かんだ連雀：峯俊美

○グループワークが盛り上がり、時間が足りなくなってしまったようですみません。発表の時間配分含め今後の課題、参考とさせていただきます。お忙しい中、本日はありがとうございました、今年度もどうぞ宜しくお願い致します。

以上

2018年度 3月 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 かんだ連雀いつでもサポートサービス 事業評価結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



⑧ ご意見、ご要望など：利用者が少ないうちは、十分なスタッフ体制を構築することが難しく、実現には苦労が伴うが、重要なサービスなので努力して参りたい。詳細な報告、大変参考になりました。看護との連携も図れており、何より不安なく自立につなげるケアの実績評価がされていると思いました。事例検討会の場ではないので、8月の推進会議を活かすことは評価できるが配布資料は文字の羅列で見にくく、前回出席していない方にはわかりにくいのではないかと感じた。医療介入が具体的にどのタイミングでどのようなプロセスを経て、効果があったのか示して欲しかった。